

資料4

令和元年度 第1回 豊田市自転車利用環境整備推進会議

~前回議事内容と本日の予定~

令和元年10月1日(火)



- 1. これまでの経緯
- 2. 前回推進会議の議事内容(H30事故状況)
- 3. 本日の予定

これまでの経緯



■これまでの経緯

平成27年5月 豊田市自転車利用環境整備計画の公表

計画期間:**平成27年度~平成29年度**までの3か年

施策:

①空間づくり-自転車通行空間の整備 (整備計画延長30.2㎞)

②意識づくり-ルールの周知・マナーの向上

③仕組みづくり-自動車から自転車への転換

Plan

(国の動き)

平成28年7月19日

○安全で快適な自転車利用環境創出 ガイドライン一部改定

平成28年12月9日

平成28年12月16日

○自転車活用推進法の成立

○自転車活用推進法の公布

豊田市自転車利用環境整備推進会議(H27.11、H28.10、H29.10)

- ・自転車利用環境整備計画の進捗報告
- ・整備の効果検証の報告
- ・安全性を踏まえた改善の提案

Do Check Action

平成29年5月1日

○自転車活用推進法の施行(自転車活用推進本部発足)

豊田市自転車利用環境整備推進会議(H30.10、H31.3)

- ・とよた快適自転車プランの評価
- ・地方版自転車活用推進計画(現状と課題及び基本方針)
- 自転車通行空間整備済路線(追加対策検討)

平成30年6月8日

○自転車活用推進計画の閣議決定

国の推進計画をふまえ、地方版自転車活用推進計画の検討をスタート

.



(1)豊田市の現状と当初計画の評価のまとめ

豊田市の現状

- ○自転車の交通事故状況
- ・全事故死傷者数に占める<u>自転車の交通事故死傷者数</u> の割合は増加。
- ・自転車×歩行者の交通事故死傷者数も増加。
- ・年齢別では、<u>高校生以下の年代(15才以下、16~19</u> 才)が突出。愛知県平均と比較して高い。
- ・愛知県内の市町村では、<u>自転車保険加入促進等の</u>条例化が進んでいるが、豊田市は制定なし。
- ○自転車の利用状況
 - ・自転車利用者の割合は、減少傾向にあり他都市と比べても低い水準。
 - ・自動車交通への依存度は依然高い状況。
 - ・健康の視点でも、自転車の活用推進が必要。
 - ・放置自転車台数は、近年は減少傾向。
- ○自転車の活用推進における取組
 - ・おいでんバスと活用したサイクリングプランの取組
 - ・産官学共働のエコ交通をすすめる会の自転車利用促進の 取組

当初計画の評価と課題

【空間づくり】

- ○自転車通行空間の整備
 - ・<u>自転車事故削減に一定の効果を確認</u>、引き続き経過観察が必要。
 - ・自転車の車道通行が増加、<u>更なる自転車通行空間の利</u> 用率・安全性の向上が必要。
 - ・道路利用者の声として、満足度が低い<u>ドライバーの満足度</u> 向上が必要。

【意識づくり】

- ○通行ルール周知、マナー向上の取組
 - ・小中高の学生に対して、自転車利用者への啓発活動、交通安全講習を実施。
 - ・一般の自転車利用者に対する啓発、周知が不足。

【仕組みづくり】

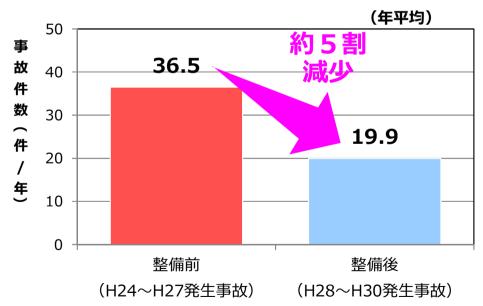
- ○自動車から自転車への転換を促す取組
 - ・エコ交通出前教室、大規模イベント時における自転車利用 PRを実施。今後は、企業との更なる連携が必要。
 - ・中心市街地内の駐輪場・自転車等放置禁止区域のPRを 実施



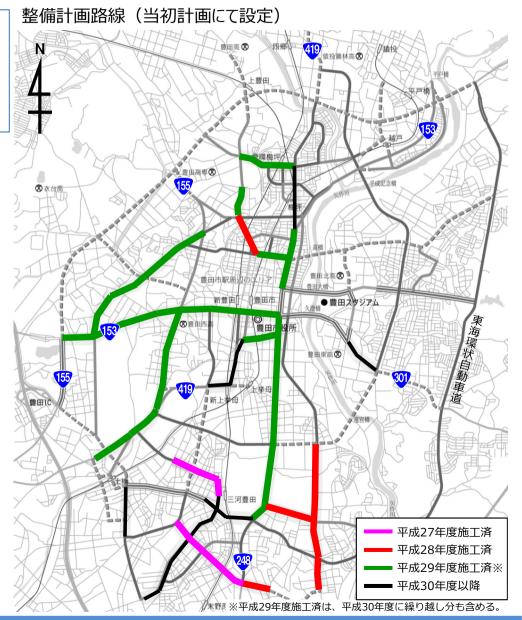
■参考:自転車通行空間整備路線※での事故状況

○平成29年度までの施工済自転車通行空間では、年平均の事故件数が、整備前(平成24年~平成27年)と整備後(平成28年~平成30年)を比較すると、約5割減少。





※平成29年度施工済み路線を対象(平成30年度繰り越し分含む)(約23.4km)



(2)(仮称)豊田市自転車活用推進計画の方向性

上位計画【第8次豊田市総合計画】 (将来都市像)つながる つくる 暮らし楽しむまち・とよた

当初計画(とよた快適自転車プラン)

空間づくり

○自転車通行空間の整備

意識づくり

○通行ルール周知、マナー向上の取組

仕組みづくり

○自動車から自転車への転換を促す取組

豊田市の現状

当初計画の評価と課題

国の自転車活用推進計画

目標1:自転車交通の役割拡大による良好な都市環境の形成

目標2:サイクルスポーツの振興等による活力ある健康長寿社会の実現

目標3:サイクルツーリズムの推進による観光立国の実現

目標4:自転車事故のない安全で安心な社会の実現

「空間づくり」、「意識づくり」、「仕組みづくり」の3本柱は継続 「仕組みづくり」は、観光・健康の視点をふまえ拡充

(3)(仮称)豊田市自転車活用推進計画の基本方針案

目指すべき姿

歩行者・自転車・自動車が互いに意識し譲り合え、

「だれもが安全で快適に楽しく自転車でつながるまち とよた」の実現を目指す

取り組むべき施策 3つの柱(基本方針案)

- I. 空間づくり ~自転車ネットワーク路線の質の向上~
 - ・自転車ネットワーク路線の安全性・連続性の向上
 - ・自転車通行空間の改善

Ⅱ. 意識づくり ~子どもから大人まで通行ルールの共通認識が持てる啓発・教育の充実~

- ・自転車安全利用五則の普及啓発の強化
- ・子どもから大人まで段階的かつ体系的な安全教育の充実
- ・事故から身を守るための取組の促進

Ⅲ. 仕組みづくり ~自動車から自転車への転換を促し、楽しく自転車を利用できる取組~

- ・クルマと自転車のかしこい使い分けによる自転車利用促進
- ・サイクルツーリズムの推進による自転車に乗りたくなる取組の充実
- ・良好な駐輪環境の確保



(4)前回推進会議での主な意見(1/2)

意見 回答 ■事故発生状況について ・平成30年の自転車の検挙数4件、指導警告件数 ・自転車利用者の取締りを行った件数は分かるか。 は7,300件でした。(豊田警察署管内) 「豊田市における交通事故の推移」の平成30年の結 果を知りたい。 自転車の交通事故死傷者数は234人で、減少傾向 にあります。 ■交通事故死傷者数 ■自転車の交通事故死傷者数 ★全事故死傷者数に占める自転車の交通事故死傷者数の割合 4,000 白 全 交 3,645 3.590 3,527 通 3,500 3,084 3,226 3.350 3,019 3,091 3.010 3,000 2.873 2.829 30% の死 故 2,638 _{2,551} 2,659 交 傷 2,585 2.392 2,420 2,500 2.219 2,275 2,000 20% 1,794 15% 死占 1,500 1,000 10% 数る 500 H10 H11 H12 H13 H14 H15 H16 H17 H18 H19 H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30

出典:豊田市HP「過去の交通事故発生状況」と豊田市交通安全市民会議「豊田市の交通事故統計」

データを基に豊田市が作成

意見

前回推進会議の議事内容



(4)前回推進会議での主な意見(2/2)

・30~40代の事故について、属性(性別等)を把握で きないか。属性が分かると、ターゲットを絞ること ができる。

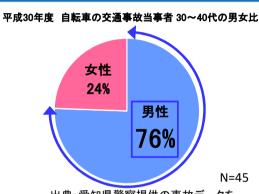
- ■安全性向上のための取組について
- ・ヘルメット装着率が悪い理由に、「ヘルメットが使い にくい|「デザインが悪い|等があると思う。使用 したくなるような対策が必要なのでは。
- ヘルメット着用の条例化も必要なのでは。

- ■自転車の利用促進について
- ・利用促進に関する啓発活動は、健康や移動に関するコ ストについても伝えると良い。

警察のデータベース によると、性別につ いては把握可能。

回答

30~40代における 自転車事故を性別で みると、男性が76% 占めています。



出典:愛知県警察提供の事故データを 基に豊田市が作成

- ・ヘルメット着用の効果や有用性を伝える啓発を実 施するとともに、ヘルメットの正しい使い方やど んな種類のものがあるかなどを、関係団体と協力 して伝えていきます。
- 自転車損害賠償保険加入の条例化に加えて、ヘル メット着用の条例化についても条例化の検討を進 (仮称)豊田市自転車活用推進計画の施策に 盛り込んでいきます。
- 豊田工コ交通をすすめる会の会員へ、自転車関連 ニュースや健康や移動に関するコストに着目した取 組など、エコ交通に関するニュースの配信を行って いきます。



■豊田市自転車利用環境整備推進会議のスケジュール(案)

平成30年度 第2回 豊田市自転車利用環境整備推進会議[3月15日(金)開催]

【地方版自転車活用推進計画】

○現状と課題及び基本方針

【個別課題】

自転車通行空間整備済路線

- ○調査結果
- 〇利用率・安全性向上に向けた課題
- 〇利用率・安全性向上の追加対策検討

令和元年度 第1回 豊田市自転車利用環境整備推進会議 【10月1日(火)開催】

今回

【(仮称)豊田市自転車活用推進計画(骨子案)】

- 〇 (仮称) 豊田市自転車活用推進計画の概要
- ○取り組むべき施策と、具体的な措置

【(仮称)自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例制定について】